

府中市政報告

# にしみや幸一 ホツとレポート・府中

環境

参加

Think



No.28 2016年2月4日発行

## やがて人口減少局面に 府中市の取るべき道は？

府中市では、国が策定を各自治体に求めている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」づくりの資料とするため、「府中市人口ビジョン(案)」をまとめ、平成27年11月の市議会「総務委員協議会」に報告しました。

人口推計値から見てきたのは、間もなく人口のピークを迎える一方、高齢化が進み続ける府中市の姿です。では、府中市として、将来を展望しどういった取り組みを推進すべきなのでしょうか。

### 府中市のピーク人口予測は約26万人

府中市の住民基本台帳人口は、平成28年(2016年)1月1日付けで256,748人、日本人だけだと252,280人に達しています。

しかし、府中市の合計特殊出生率(15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計した数値)では、1.40(2014年実績)となっていて、平成37年(2025年)前後の26万人程度をピークに、以降は人口が減少傾向に転じると見られています。

また、人口の最も多い年齢層が高齢化していきます。本年1月1日付けの住民基本台帳人口では、人口のピーク世代が40~44歳で22,736人となっていますが、「人口ビジョン(案)」でのシミュレーション(基本ケース)によると、平成52年(2040年)のピーク世代は、65~69歳となります。

### まちの魅力づくりと若い世代の定着を

少子高齢化や人口減少問題というと、税支出をどう縮減させるか、に議論が向かいがちです。

しかし、社会保障・教育・地域環境などの「質」を高め、暮らしの安心を支えることが、行政の責務がありつづけるのは間違いありません。人口縮小社会が目前だからこそ、暮らしの安心づくりにどう取り組むか、行政の戦略性が問われます。

その点、府中市は現状でも、他市に比べ財政面の余力があります。財政規律の確保を前提としつつも、意欲的な取り組みがなされるべきです。

その第一歩としては、都市の魅力やブランド力を高めるための「シティ・プロモーション」施策

が重要です。まち独特の魅力を発掘して、それが浸透するよう各地へ積極的に発信していけば、人・モノ・情報が活発に行きかうようになり、流通やサービス業、起業活動などの拡大と、税収増への波及が期待できます。

さらに、若い世代や子育て家庭の住みやすさに配慮した施策も不可欠です。出産・子育てへのサポートに加え、にしみや幸一が従来から求めてきた、小中一貫教育をはじめとする基礎学力づくりの教育体制整備、親の貧困が子どもに引き継がれていく「貧困の連鎖」を防ぐ学習支援の推進など、「子どもの未来を育む」市政の充実も大切です。

にしみや幸一は、これらの提言が実践に移されるよう、本年も議会内外で行動してまいります。

### 北朝鮮核実験に抗議文送付

新年早々の1月6日、北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)が、「水爆実験」を実施したと発表しました。

この実験は、国連安全保障理事会決議の明確な違反行為であり、被爆国である我が国がとてども容認できるものではありません。

そこで翌7日に、平和都市宣言を行っている府中市として、高野律雄市長が北朝鮮に抗議文を送付しました。

市議会でも、各会派の代表者了解のもと、同じく7日に、市川一徳議長名による「朝鮮民主主義人民共和国の核実験に対する抗議文」を、同国宛て送付しました。

ホツとレポート・府中

発行所：にしみや幸一後援会

〒183-0003 府中市朝日町1-4-1

にしみや幸一  
副議長の眼

## 12月議会 審議のポイント報告

平成 27 年 11 月 27 日～12 月 14 日にかけて開催された平成 27 年第 4 回府中市議会定例会(12 月議会)では、市長提出議案が 16 件可決されました。

とりわけ、動きの目立った都市整備・開発関連の問題を中心に、12 月議会の審議のポイントをご報告します。

## 特集 府中駅周辺整備

## 再開発ビル施工の発注方法に変更案

「再開発対策特別委員会」では、府中駅南口再開発第 1 地区の工事費について、資材等の高騰により公共工事の請負代金に変更される「スライド条項」の適用分と、やむなく必要となった工事分とを合わせ、約 7.55 億円(うち市費は 5.95 億円)の増額が見込まれる旨、市から報告がありました。

また市は、地中障害物の除去などの影響で工期が数ヶ月遅れていることから、再開発ビル 5・6 階の「公共公益床」に関わる工事のスケジュール及び発注方法を一部見直したいと表明しました。

「公共公益床」には、NPO や市民団体などの活動・交流の場として、活動支援の事務機能やオープンスペース・小ホール等を配置した「市民活動拠点施設」が整備されます。当初のスケジュール案では、平成 29 年 3 月の建物完成後に、府中市が「公共公益床」部分を再開発組合から買い上げ、それから競争入札により内装工事を発注する手順となっていました。

しかしこれでは、平成 29 年 7 月中の再開発ビル・グランドオープンに間に合いません。再開発組合としては、現在ビル建設を受注している共同事業者(JV)に随意契約で本体工事と内装工事を一体発注したい、とのことでした。

ただこの案には、特別委員会の席上、内装工事の競争入札が実施されず市内業者の受注機会創出となりにくい点や、再開発組合による一体発注に変更されるに至った経過、さらに再開発費用の増加などについて、委員からの質問が集中しました。そこで、年が明けた 1 月 15 日に、再開発対策特別委員会が臨時に追加開催されました。

当日は、再開発組合により、スケジュール変更案の背景が詳細に説明されました。今後の着実な事業進展と、平成 29 年 7 月中のグランドオープン厳守に賭ける組合の決意も審議を通じて伝わってきましたが、本年 3 月議会には関連予算が審議さ

れます。そこで、再開発対策特別委員会では一連の報告を「了承」とはせず「聞き置く」にとどめ、市に一層の説明を求めることとしました。

## グリーンプラザ敷地 将来へ新たな活用方針

府中市では、老朽化や更新時期が差し迫っている市内公共施設の規模・機能などを最適化すべく、「公共施設マネジメント」に取り組んでいます。

とくに、府中駅周辺の施設再編は、公共施設マネジメントのモデル事業と位置付けられています。「府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)」では、文化施設としての府中グリーンプラザの利用は平成 29 年度末を区切りとし、その後は商業系施設として新たな敷地活用をめざす考えが打ち出されています。

ところでグリーンプラザでは、利用団体による自主運営組織「市民フロアセブン協議会」が、長年組織されています。グリーンプラザ 7 階にある部屋のうち「グループ活動室」など 3 室は、原則的に協議会登録団体だけが、年間登録料 800 円を除けば無料で利用できるルールとなっています。

このルールだと、支出が抑制され団体会費が安く済むので、登録団体の活動継続にはメリットがあります。その一方、登録団体数が 100 を超え抽選漏れで利用できないケースが増えているほか、利用条件での登録団体優先を、あるべき公益性の面から、改善課題と捉える意見もあります。

そうしたなか、12 月議会に提出された「グリーンプラザの平成 30 年度、解体の取りやめを求める陳情」は、協議会存続のためにグリーンプラザの現状維持を要望する趣旨でした。

確かに、市役所内部の横断的連携のもとに行われるべきモデル事業にも関わらず、協議会に対する市の方針説明には丁寧さが不足しています。グリーンプラザの利便性が、再開発ビルの「市民活動拠点施設」に引き継がれるのか、不透明さもあります。

とはいえ、協議会の存在を考慮する必要はあるにせよ、公共施設再編の問題は、あくまでも総合

的な観点から判断されるべきです。さらに、同じ市民団体でありながら、登録団体と未登録団体の間に「垣根」を生み出しかねない点で、協議会登録団体優先の利用ルールに、再検討の余地はないのでしょうか。

そこで、にしみや幸一は、陳情審議が行われた文教委員会において、「市民フロアセブン協議会」が過去に果たした役割を評価しつつも、陳情「不採択」を主張しました。本会議でも、大半の会派の賛成で不採択と決しました。

## 二枚橋跡地 売却に向かうも課題あり

### 関係 3 市で跡地売買覚書を締結へ

かつて東八道路の北側に、府中・小金井・調布の 3 市にまたがって、二枚橋衛生組合の清掃工場が建っていました。しかし、平成 22 年 3 月に組合解散となり、その跡地約 11,100 m<sup>2</sup>は、各市で 3,700 m<sup>2</sup>ずつ所有することになりました。

なお、府中市所有の跡地は、そこを買い増して清掃工場を新規に建設したかった小金井市の状況を踏まえ、東京都のあっせんにより、鉤（カギ）型の不整形地となっています。

その後、小金井市の清掃工場プランは白紙になり、跡地が塩漬け状態となりましたが、平成 27 年 8 月に調布市から、跡地取得の申し入れが府中市になされました。

すでに小金井市でも、前小金井市長時代の一昨年（平成 26 年）12 月に、府中市に改めて跡地買収の申し入れを行っていたことから、3 市で組合跡地売買に関する覚書を締結する流れとなりました。

覚書案では、府中市の土地を分割し、調布市に 2,200 m<sup>2</sup>、小金井市へは 1,500 m<sup>2</sup>を、それぞれ売却する内容となっています。ただし、調布市への売却時期は平成 28 年度内と明示されていますが、小金井市に関してははっきりしていません。

### 調布・小金井両市の説明こそ重要

以上の経過報告を受けた 11 月の「総務委員協議会」では、不整形地だと府中市単独の土地活用が難しいことから、長時間の議論の末、最終的には全会一致で、跡地売却を念頭に入れた覚書締結への 3 市協議を了承しました。

しかし委員からは、今後について懸念する意見

もいくつか出されました。

ひとつは、購入時期も活用方法も明確ではないまま、土地の取得意向を示してきた小金井市の姿勢に対してです。

また調布市の場合は、取得した跡地に、古紙・缶・びんといった資源物の一時保管場所（ストックヤード）と、建設現場にある仮設トイレなどのし尿を処理する施設を、移転整備する意向です。府中市は協議会で、「調布市内の同種施設による騒音や悪臭の苦情は、ほとんど出ていない」と答弁していますが、具体的な施設計画が提示されているわけではありません。

さらに、調布・小金井両市の跡地購入額がいくらになるかも、覚書締結後の交渉しだいです。

そのため、にしみや幸一は、両市による丁寧な住民説明実施を粘り強く働きかけることと、跡地周辺地域に配慮した慎重な姿勢による問題対処を、府中市に継続的に求めてまいります。

## 府中基地跡地利用の基本方針案 提示

府中市生涯学習センターに隣接している、面積約 15.5 ha の旧米軍府中基地跡地留保地（浅間町）は、「国立医薬品食品衛生研究所」と「国家公務員宿舎」の整備計画が撤回となって以来、活用策が決まっていません。

府中市では、市役所内にプロジェクトチームを設けて、国に提出する留保地利用計画案を検討していますが、このほど、にしみや幸一も委員を務める「基地等跡地対策特別委員会」に、「府中基地跡地留保地活用基本方針（案）」が報告されました。

方針案によれば、利用方法を検討していく際に、公共と民間の共存活用を現実的な方策と捉えて、「市の将来課題や市民ニーズへの対応」「周辺住環境及び自然との調和」「財政負担の抑制」などを基本線にするとのことです。

また、平成 31 年度までの時間をかけ、市民との意見交換も交えつつ、利用計画をまとめるという策定スケジュールが示されています。

### 12 月議会 本会議の様子は…

こちらのアドレスで動画配信されています。

<http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp/>

## にしみや幸一の 府中市東部地域レポート

### 新人見街道 整備の方向に

東京都は、平成 28 年度～37 年度に優先して事業着手すべき「優先整備路線」を選定し、平成 27 年 11 月に、「東京における都市計画事業化方針（第四次事業化計画）」（案）として公表しました。

府中市東部地域の関係では、府中 3・4・12 号線が、都施行の路線として選定されています。これは、人見街道の調布市との市境付近から西に向かい浅間山通りに接続する道路で、しばしば「新人見街道」とも呼ばれます。

道路幅員の狭さに加え、多磨駅東側（朝日町 3 丁目）でイトーヨーカドーのショッピングセンター「Ario（アリオ）」の開業が予定されるなど、人見街道周辺では、交通環境整備の必要性が高まっています。そのため府中市は、府中 3・4・12 号線整備を重要陳情項目と位置づけ、東京都に対し、優先整備路線化を再三再四要望してきました。

選定の正式決定は、「第四次事業化計画」（案）へのパブリックコメント実施後となります。

### 「Ario」整備のこれからは…

イトーヨーカドー「Ario」は、平成 32 年（2020 年）春に開業となる予定です。ここから逆算すると、平成 28 年度は、建物の基本設計作業や、交通問題に関する警察協議などが進むと想定されます。

にしみや幸一は、交通安全対策の強化、既存商店（街）等との共存・連携、周辺との環境調和をはじめとして、地域要望の実現を期して活動してまいります。

### 多磨町で カーブミラーを改善

「アメリカンスクール・イン・ジャパン」西側を南北に走る府中市の市道 1-139 号線には、カーブミラーが数基設置されています。

しかしそのうち、「府中ふれあいパーク」北の住宅地向かいにある一基では、右折用ミラーのみが取り付けられ、左折用はありませんでした。

にしみや幸一が、住民の方のご要望を受けて市と交渉した結果、左折用ミラーが追加されました。



### にしみや幸一 市政報告会を開催

昨年の 11 月 28 日（土）、朝日町で市政報告会を開催させていただきました。

午前中の開催にも関わらず、約 25 名の方々にご参加いただき、多くのご意見を頂戴しました。

ありがとうございました。



### 議員辞職勧告決議 可決のご報告

公職選挙法違反（地元自治会への現金寄付行為）により、立川簡易裁判所で罰金刑及び公民権停止 3 年の有罪判決が下され、さる 11 月には東京高等裁判所への控訴が棄却された備邦彦議員に対する議員辞職勧告決議が、12 月 14 日の本会議で、備議員退席のもと全会一致で可決されました。

勧告決議に拘束力はありませんが、市議会の一員として、今回の事態及び一連の経緯を重く受け止め、市民の皆様に深くお詫び申し上げます。

## にしみや幸一

（府中市議会議員 会派：市民フォーラム／  
民主党東京都第 18 区総支部政策調査委員長）

事務所所在地 〒183-0003 東京都府中市朝日町 1-4-1

電話・FAX 042-361-9579（不在の際のお問い合わせは、できれば FAX で）

E-mail town\_pride@jcom.home.ne.jp

ホームページ <http://www.nishimiya-koichi.net/>

